発行日 令和7年10月26日発行　発行責任者 石川 義和　住所 郡山市朝日１丁目23−7　電話 024−924−2507　FAX 024−924−0141

郡山市議会

新政会（しんせいかい）だより

VOL.34

令和7年 郡山市議会 9月定例会報告

9月定例会の概要

令和7年度郡山市議会9月定例会は、9月3日に開会し10月1日までの29日間にわたり開催されました。定例会初日に市長から、「国の政策動向を注視し、時機を逸することなく市民生活、地域経済に即応できるよう、私自ら中央省庁4省庁8部局に対し要望を行ってきた。引き続き迅速な情報収集及び分析を基に、適切な対応に努める。」旨の表明がありました。

補正予算の概要は、当初予算編成方針等を継承しつつ、「選ばれるまち」、「新たな行政課題や需要への対応」の2項目に整理し、住んでみたい、住み続けたいと思えるまちづくりを推進するため、時宜を捉え今必要な予算編成として、一般会計50億7,691万6千円、特別会計7億4,603万1千円が計上され、これら予算議案のほか、条例議案等が上程され、原案通り可決されました。

また、本定例会は、市議任期4年の折り返しの時期を迎えることから、正副議長・監査委員・各常任委員会正副委員長の人事を決める定例会でありました。

議長選挙には、新政会から折笠正会長を推薦しましたが、15票で次点となり惜敗しました。議長には近内利男議員が、副議長には諸越裕議員が就任いたしました。

新政会からは、監査委員に廣田耕一、建設環境常任委員会委員長に會田一男、総務財政常任委員会副委員長に福田文子、議会運営委員会副委員長に遠藤利子の各議員が選出されました。

また、新政会会長には石川義和議員が就任いたしました。

石川義和会長は「新政会議員一同は、市民の福祉の増進に取り組み、心の豊かさが実感でき、本市に住んでよかったまちづくりに努める」ことを明らかにしました。

新政会議員紹介（連絡先） ご意見をお気軽にお寄せください

顧問（4期）
廣田 耕一
生活福祉常任委員会
郡山市監査委員
日和田町字南原2−111
☎・FAX
024−958−1101

会長（4期）
石川 義和
建設環境常任委員会
台新2−4−11
☎・FAX
024−953−6062

副会長（3期）
折笠 正
総務財政常任委員会
田村町下道渡字坂ノ下65
☎・FAX
024−955−3913

（4期）**栗原 晃**
文教経済常任委員会
議会運営委員会
亀田1−24−11
☎ 024−938−4151
FAX 024−924−0141

（3期）**良田 金次郎**
生活福祉常任委員会
湖南町赤津字南町4172
☎ 024−983−2914
FAX 024−953−2088

幹事長（3期）
會田 一男
建設環境常任委員会（委員長）
議会運営委員会
郡山地方広域消防組合議員
西田町木村字池ノ上18
☎・FAX 024−983−9957

（2期）**福田 文子**
総務財政常任委員会（副委員長）
郡山地方広域消防組合議員
堂前町6−5
☎ 024−922−1313
FAX 024−922−8312

（1期）**遠藤 利子**
議会運営委員会（副委員長）
生活福祉常任委員会
広聴広報委員会
都市計画審議会
喜久田町早稲原字明神脇26
☎・FAX 024−958−4262

（1期）**冨樫 賢太郎**
文教経済常任委員会
郡山地方広域消防組合議員
富久山町久保田字
大久保76−1たんぽぽC202
☎・FAX
024−911−9224

6月定例会の主な「代表質問」、「一般質問」

代表質問　質問者：折笠　正 議員

◀実際の映像もご覧になれます

「明日への責任3つの約束」について

Q 市長選出馬に際し表明した3つの約束を今後どのように取り組む考えなのか伺う。

A 1つ目は郡山駅西口の交通渋滞対策や、旧豊田貯水池跡地等の地域資源の利活用を通じ、住む人が誇りを持ち、訪れる人に感動してもらえるまちを目指していく。

2つ目は子育て世帯への支援、障がいのある人々への包括的支援、高齢者の移動手段の確保や、防災体制の維持等、社会基盤を構築していく。

3つ目は、地元企業への支援、医療機関の機能強化、農業の担い手育成やブランド化支援等を通じて経済基盤の強化を図っていく。

「(仮称)6次産業化・農商工等連携推進計画」について

Q 農商工部が本年度策定する、当該計画の基本方針と今後どう発展させていくのか。

A 策定予定の計画においては、食と農に関わる地域経済の持続的な発展を見据え、地域内外の多様な関係者が参画するプラットフォームの構築と、食の新たなイノベーションを誘発する、地域一体となった面的な取り組みを推進する。併せて商工会議所等との連携を強化し、事業者の掘り起こしを行うほか、生産者と商工業者や飲食店等とのマッチングを進め、本市農産物の付加価値向上と国内外への販路拡大を支援していく。

【その他の質問】● 教育問題について　● 事業承継について　● 相続土地国庫帰属制度について
● 道路の維持管理について　● 樹木の安全管理について　● 汚水中継機能改築について

一般質問　質問者：會田 一男 議員

◀実際の映像もご覧になれます

郡山市東山悠苑について

Q 火葬炉の運用について伺う。

A 1日の火葬上限数を18件と設定し、そのうちで、上限に達したのは昨年の4～9月で13日、10～3月は75日だった。

火葬上限数を引き上げるには火葬炉の数に対する待合室、お別れ室、収骨室などの施設面の課題、火葬委託従業者の確保と費用負担の課題、火葬炉の故障リスクと耐用年数短縮の可能性も考慮する必要がある。

令和5年12月に策定した施設長寿命化計画の実施に合わせ最適な運用状況を検証し火葬件数の増加にも対応した施設改修を目指す。

Q 施設改修等について伺う。

A 供用開始から34年が経過した施設であることから、平成30年3月に策定した郡山市公共施設等総合管理計画個別計画に基づき、平成30年度から施設の在り方、方向性を検討し、郡山市公有資産活用調整会議での審議を経て令和5年12月に施設長寿命化計画を策定した。躯体改造は行わず、火葬炉設備の更新による機能向上や、待合室の増設により混雑緩和に努めるとともに、電気、空調、炉前ホール天井及び待合室の洋式化などの改修により、耐用年数を築後最大80年・2071年まで伸ばす計画としている。

【その他の質問】● 通学路安全対策事業について　● 乗合タクシーについて　● 人口問題について
● 敬老の日の記念品について

一般質問　質問者：栗原　晃 議員

◀実際の映像もご覧になれます

学校給食の安全性について

Q オーガニック給食への取り組みを始める考えはあるのか。

A 学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達に資するものであり、本市においても、学校給食衛生管理基準等に基づいて、鮮度の良い衛生的な食材を購入し、安全・安心な給食を安定的に提供している。オーガニックは有機と同義で、有機農産物の日本農林規格(有機JAS規格)の基準に従って生産された農産物と定義されており、有機農産物が質が良く、安価で必要量を安定的に供給できるのであれば、学校給食での使用を検討する。

【その他の質問】● 内部統制制度について　● 障がい者福祉施設について
● 「ウェルビーイング都市実現型」課題発見・解決先進都市の創生について　● 観光の振興について

令和6年度 決算概要

一般会計・公営企業4会計を含む28特別会計

令和6年度決算特別委員会は、令和7年9月26日から10月1日までの実質4日間にわたり決算認定等議案29件について審査し、全会一致で承認されました。決算の概要は次の通りです。一般会計の決算額は歳入が1,607億8,817万円、歳出は1,543億5,494万円で、翌年度への繰越充当財源を差し引いた実質収支は61億6,219万円の黒字決算となっており、公営企業を除く24の特別会計についても黒字決算となっております。一方、財政健全化判断比率は、一般会計の赤字額の割合を示す実質赤字比率及び連結実質赤字比率に赤字額はなく、公債費による財政負担の程度を示す実質公債費比率や、借入金に加え、将来にわたる市財政への負担の大きさを示す将来負担比率についても、健全な状態にあります。また、資金不足もなく良好な状態であります。

9月定例会の主な「一般質問」

一般質問　質問者：石川 義和 議員

◀実際の映像もご覧になれます

市民を望まない受動喫煙から護るために分煙施設等の整備を

Q 本市の公共施設には、体育館、開成山公園、文化センター等多くの施設がある。また、うねめまつりなどの人出が多くなるようなイベント等においては、市民が望まない受動喫煙にさらされている。本市も特別交付税を積極的に活用し、駅前・商店街・公園等における公共施設等に分煙施設を設け、自治体の責務を果たすべきと考えるが見解は。

A 今後における分煙施設等の設置については、周囲での健康被害を完全に防ぎきれない可能性があることから、高齢者や妊婦、お子様など、多くの市民の方が利用される公共施設への導入は考えていない。

安積永盛駅舎等の整備について

Q 人口減少が加速する中、各自治体は、自らの自治体への移住促進に取り組んでいる。地域の方、日本大学はじめ各学校に通う利用者の方がバリアフリーにより、安全安心に移動でき、また訪れたい駅にすることが、地域の再開発につながり、結果的に魅力ある郡山の実現につながるが、現段階でのJR東日本との進捗状況は、また、今後どのように整備していくのか。

A 安積永盛駅舎の整備については、JR東日本と継続的に協議を進めている。当駅の整備はバリアフリー化等利便性の高い交通ネットワーク形成の実現を目指しており、今後も地域発展に資する整備となるよう引き続きJR東日本と協議を行っていく。

【その他の質問】● 外国人との共生を目指して

一般質問　質問者：福田 文子 議員

◀実際の映像もご覧になれます

こおりやま広域圏の今後の展望について

Q 17市町村約60万人の生活を強いリーダシップで導いて頂きたいと切に願っているが、椎根市長におきましては、こおりやま広域圏の今後について、どのような展望をお持ちなのか伺う。

A 平成26年に制定した「連携中枢都市圏構想推進要綱」において、「人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済を維持するための拠点を形成すること」が、示されている。圏域における社会経済の拠点として期待されるリーダーシップを発揮しながら、「広め合う、高め合う、助け合う」の合言葉のもと、各市町村の強みを活かした効果的な連携事業を展開し、圏域住民の皆様が安心して快適に暮らし続けられる、活力ある圏域づくりを進めていく。

手話施策推進法を踏まえた今後の展望について

Q 本年6月25日に、手話施策推進法が施行された。これを踏まえ、郡山市として手話言語に関する施策をどのように推進していくのか伺う。

A 平成27年4月1日に「手話言語条例」を施行している郡山市においては、手話を使用する者の意思を尊重し、共生社会の実現を図るという点で、手話施策推進法は強力な後押しになるものと認識している。今後も法及び条例の趣旨を踏まえ、手話を使用しやすい環境づくりを推進し、すべての市民が共に生きる地域共生社会の実現に努める。

【その他の質問】● 子どもへの性暴力対策について

一般質問　質問者：遠藤 利子 議員

◀実際の映像もご覧になれます

「人生会議」わたしの未来ノートについて

Q 人生会議(ACP)は、もしもの時のために自分が望む医療やケアについて前もって考え、事前に信頼できる人と話し合い、共有する取り組みです。本人にとって大切な一冊となる未来ノートを自分事として考える必要がある。今後の活用について問う。

A 人生会議(ACP)の活用により、万が一の場合に本人が希望する医療やケアを受けられる可能性が高まり、家族の精神的負担の軽減や円滑な医療連携にも繋がる。現在、在宅医療・介護連携支援センターにおいて、「わたしの未来ノート」の増刷に向けた作業を進めている。市民向け研修会や医療・介護等の専門職を対象に、それぞれの活用を考える機会を設け、市民一人ひとりにとって大切な一冊となるよう、効果的な活用の検討と、周知啓発、内容の充実を図っていく。

性に関する正しい知識の普及と支援体制について

Q 男女ともに、性に関する正しい知識を得ることは、性犯罪やDVから身を守るだけでなく、子どもを望む方が安心して出産できるなどの波及効果もあると考える。中学生の性の教育に関する現状について問う。

A 各学校において、保健の授業を中心に学校教育全体で二次性徴や生命の連続性、異性の尊重、性との向き合い方、性感染症とその予防、性被害の防止など指導をしている。SNSに関しては情報モラル教室を、性に関する危険回避の方法などについては防犯教室を開催し体験的な学習を実施している。また養護教諭や学級担任等への指導を含む様々な研修を実施している。更に、医師会・助産師会の協力の下、産婦人科医等が全ての中学校等に出向き、指導している。

【その他の質問】● 5歳児健診について　● 民生委員について　● 禁煙及び受動喫煙防止に関する取組みについて

常任委員会報告

本年9月定例会より、行政組織改編に伴い常任委員会の所管部局が変更となり、文教経済・建設環境・生活福祉・総務財政の4つの常任委員会となりました。各委員会の審議内容とPDCAサイクル事業(事業進捗報告と評価)について報告します。

文教経済

栗原　晃、冨樫 賢太郎

文化スポーツ観光部、農商工部、農業委員会、教育委員会が所管部局となり、委員会に付託された議案の主なものは、「効果的な企業誘致に向けた動向調査の実施」「トマト黄化葉巻病への緊急対策」等であり、原案の通り可決されました。

PDCAサイクル事業は、農商工(福)融合により、タイパ・コスパをアップし、更なる輸出促進を図る「輸出促進・マーケット開拓事業」を選定しました。

生活福祉

廣田 耕一、良田 金次郎、遠藤 利子

市民部、保健福祉部、子ども部が所管部局となり、当委員会付託分の補正予算、条例議案等については、原案の通り可決されました。請願については、「不安な未来を希望に変えるため、郡山市への制度創設を求める請願書」について可否同数となり、委員長裁決の結果採択すべきとなりました。

PDCAサイクル事業は、「子ども誰でも通園制度」と「ペップキッズこおりやまWEB予約システム導入」を選定しました。

建設環境

會田 一男、石川 義和

上下水道部、建設構想部、都市構想部、環境部が所管部局となり、議案の主なものは、安全で円滑な道路環境の整備事業、道路台帳を窓口交付からウェブサイト公開に移行してペーパーレス等を推進し、市民サービスの向上と業務の効率化を図るための「郡山市手数料条例の一部改正」のほか、東山悠苑の冬季間(12月～3月)の１日当たり火葬対応件数を18件から20件に拡充するために要する経費等、その他議案すべてが原案のとおり可決されました。

PDCAサイクル事業は、「郡山駅西口ロータリーの改修等、駅周辺の混雑対策事業」を選定しました。

総務財政

折笠　正、福田 文子

財務部、総務部、税務部、政策開発部、会計管理者、公平委員会、選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会が所管部局となり、付託議案について原案通り可決されました。請願については、「軍事予算削減と核兵器禁止条約の署名を求める意見書提出の請願書」、「消費税率5％以下への削減を求める意見書」・「適格請求書等保存方式(インボイス制度)廃止を求める意見書」それぞれを政府に送付することを求める請願書について、賛成少数で不採択すべきとなりました。

PDCAサイクル事業は「公共施設総合管理計画及び個別施設計画の見直し」を選定しました。

決算特別委員会における現地調査

●石塚樋門・ポンプゲート整備事業(9月29日)

ゲリラ豪雨や台風などにより浸水被害が発生している郡山中央工業団地の被害軽減を図るため、令和7年度の完工に向け整備が進められています。

●開成山体育施設整備事業(9月30日)

施設の老朽化、各種プロスポーツの開催、スポーツコンベンション等地域活性化への期待等により、民間の資金及びノウハウを活用したPFI事業により整備されました。

新政会行政調査

●地方議会研修会主催「公共施設特別講座」(7月24日)

公共施設の長寿命化・老朽化問題をはじめとした基礎知識の習得、学校の老朽化とこどもの人口減を踏まえた統廃合の考え方について、様々な自治体の事例紹介も交えて学習することができました。

編集後記

猛暑であった夏も彼岸を過ぎたころから秋の気配が感じられる様になりました。稲の刈り取りも進んでおり、米価がどうなるか気になるところです。9月定例会も、当局提案議案はすべて可決され、また令和6年度の決算議案についても承認されました。世界を見渡せばロシアによるウクライナへの侵攻、イスラエルとハマスの紛争など、日本にも大きな影響があり大変心配です。(會田)

ご意見をお気軽にお寄せください
☎(024)924-2507 fax(024)924-0141

虚礼廃止について

公職選挙法により暑中見舞など、時候の挨拶状が禁じられております。
市民の皆様には、趣旨をご理解いただきご協力を賜りますようお願いいたします。

VEGETABLE OIL INK
この印刷物は、環境にやさしい植物油インキで印刷しています。